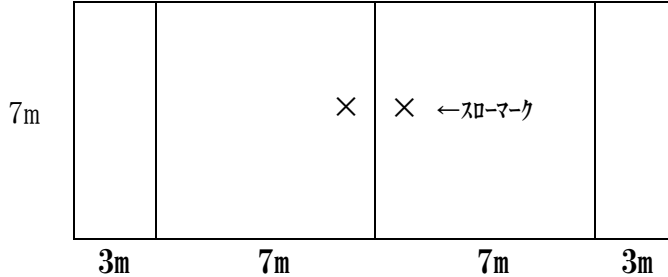


池田市こども会 親睦ドッジボール大会・ルール

(1) コート

〈内野〉 7m×14m 〈外野〉 3m幅



(2) ボール

「モルテンらいと・どっじ2号球」を使用します。(日本ドッジボール協会推薦球)

(3) チーム

試合開始時の内野・外野の人数

内 野	外 野	合 計
5人	3人	8人

※試合開始時の外野は、当てないかぎり内野にはなれません。

(4) ジャンプボール

- ①試合はジャンプボールで始まります。
②ジャンパーへの内野からの第1投の攻撃は禁止です。

（５）抗議・アピール

試合中は審判に抗議はできません。

(6) 攻撃とアウト・セーフ

[アウトの場合]

- ①相手の投げたノーバウンドの投球を取れなかった場合はアウトになります。
- ②1回のノーバウンドの投球で2名以上当たった場合は、最初に当たった1名のみがアウトになります。
- ③相手に当てられたボールを味方の別の選手がノーバウンドで取った場合でも、最初に当てられた選手はアウトになります。
- ④相手の投げたノーバウンドの投球が顔や頭に当たった場合もアウトになります。
- ⑤アウトの判断は審判が行います。

[セーフの場合]

- ①相手の投げたノーバウンドの投球を取ることができた場合。
- ②相手が投げたときにファールがあった場合は、当てられてもセーフとなります。

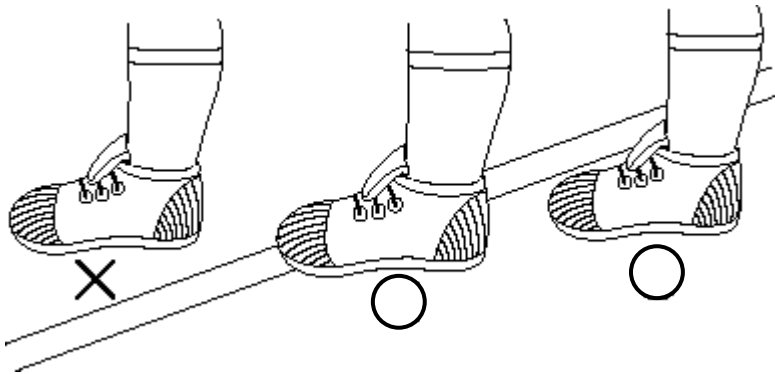
(7) 内外野への移動

- ①試合中の内外野への移動は、コートの外を通るようにしてください。
- ②外野が相手の内野を当てると、内野に入ることができます。ただし、作戦上、内野に入らず外野に残ったままでもOKです。その場合、次のプレーが始まった時点で内野に入ることにはできません。(外野が1人の場合は、内野に入ることにはできません。)

※試合終了時に「当てていた」と申告して入ることにはできません。

(8) 相手ボールになる場合

- ①ボールを投げるときやボールをキャッチしたときに、両足か片足が完全にラインを踏みこえた場合。(下図参照)



- ②外野がボールをキャッチできず、外野のラインより外へボールを出した場合。
- ③当てる意志のないパスを4回以上続けた場合。

(9) 試合の再開

自分のチームのボールになったときは、審判の合図（笛）により、スローマークから投げて再開します。(審判の合図より先にゲームを再開した場合は無効となり、やり直す。)

(10) その他

- ①相手のコートに転がっているボールでも、ラインを完全に踏み越さなければボールをかき寄せることができます。(足の位置は上図の通り)
ただし、空中にあるボールをかき寄せる場合、その後着地した足が、片足でもラインを完全に踏み越してしまった場合は、自分のチームのボールにはなりません。
- ②決して頭を狙って投げることもないよう、また、高学年の選手は低学年の選手に対して、優しいプレーを心がけてください。
- ③試合中の全ての判断は、審判に一任してください。
- ④審判・他チームの選手に暴言・暴力をふるうなど、試合進行に影響のある行為をした場合、処分を下す場合があります。